

登山の実施結果について(令和6年4月27日～同年5月28日実施分)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例					
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言		
1	宇都宮白楊高等学校	春山登山	古賀志山(宇都宮市)	令和6年5月3日	1日(日帰り)	4名	2名 金鋪良昭 佐久間利美 (部活動指導員)	JR宇都宮駅(8:30)=森林公園駐車場(9:30)…北登山口入口(9:45)…古賀志山山頂(11:20)…御岳山頂(12:00)…森林公園駐車場(13:20)=JR宇都宮駅(15:25)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・生徒にとって久しぶりの登山であったため、ペース配分と体調をよく確認しながら取り組んだ。 ・転落注意の所は指導員との連携を図り通らせた。	生徒1名が下山中の階段で足を踏み外しそうになった。(足を滑らせた。)	登頂後の安心感からのゆるみと考えられる。また、下りの速度が遅かったことも考えられる。	今後事前指導を改めて徹底する。また、それほど勾配が急な山でなくても上り下りのペースは一定に保つことを徹底する。	問題なし		
2	栃木女子高等学校	令和6年度岩場通過トレーニング登山	大小山(足利市)	令和6年5月3日	1日(日帰り)	13名	4名 高橋秀明 池間明德 竹前睦 増山明美	阿夫利神社8:20…妙義山東分岐9:00…妙義山頂9:20…妙義山東分岐9:45…西場富士11:00…阿夫利神社11:50	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ2	第1号	晴れ 0cm	・岩場の急斜面を通過する際は、引率やアドバイザーが分散して、注意喚起や助言を行った。 ・経験を積ませるために2年生を先頭に、岩場通過やルート選定等で時間がかかる可能性があったため、コースの短縮等を視野に入れて余裕のある行動ができるようにした。→ルートを一部短縮した。	低山特有の、地図では読み切れない踏み跡の不明瞭な分岐に対して、ルート選定に時間がかかった。	2年生が今までの山行を3年生に頼りすぎたままだったこと。	山行の際に、団体行動をするともに部員一人一人が主体的に考えながら行動できるように、日々の部活動の中で、指導を徹底する。	問題なし		
3	大田原高等学校	読図山行	安戸山(那須塩原市)	令和6年4月27日	1日(日帰り)	14名	2名 高梨和幸 小磯怜士	湯の香しおぼら5:45集合、行動開始6:10…A鳥居6:20…E(西分岐付近)8:40…K山頂9:50…O御神木周辺12:10…霧沼登山口13:10…湯の香しおぼら13:50、ミーティング後14:30終了	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇りのち晴れ 0cm	・新入部員にとっては入部後初めての山行であり、こまめに体調の確認をした。 ・前日に発熱した生徒1名と退部した生徒1名は不参加のため、生徒14名の参加。	登山開始後まもなくC地点にて帯同者がトランシーバーを落としていたことに気づいた。生徒を含む本隊はC地点にて待機し、OB隊が引き返してトランシーバーを無事確保した。その後C地点で全員が合流し、行動を再開した。予定ではQ地点、R地点の読図を行う予定だったが、読図も時間をかけて行ったこともあり、P地点以後、予定を変更し、霧沼登山口から下山して公道を歩いて湯の香しおぼらに向かうことにした。	トランシーバーのクリップが外れやすいため。	トランシーバーにクリップだけに頼らず、備え付けられている紐も利用して装着する。	問題なし		
4	大田原高等学校	那須山行	赤面山 三本槍岳(那須町)	令和6年6月1日	1日(日帰り)														
5	大田原高等学校	夏山山行	一切経山 東吾妻山(福島市)	令和6年6月8日～6月9日	1泊2日														

次回審査会で報告予定

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			中止理由
									人数	資格	要件	
1	大田原高等学校	塩原山行	弥太郎山(那須塩原市)	令和6年5月11日	1日(日帰り)	16名	2名 高梨和幸 小磯怜士	南登山口 6:30…分岐1 7:50…分岐2 8:10…分岐3 9:35…弥太郎山 9:50…分岐3 10:20…西登山口 11:10	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	・5/2の晴天時に下見を実施した。ルートを半分ほど進むと落ち葉が堆積する傾斜のきつい斜面に差し掛かる。また、この付近には土の無い岩肌が数十センチメートルの落ち葉が堆積する場所がある。 ・この堆積した落ち葉は滑りやすく、滑ったときに発生した落石は数メートル下まで落下し、特に下山時は注意を要する。 ・計画では登山口から別の登山口への一方通行のルートとなっており、引き返す行程はないが、トランシーバー発生時はここをエスケープルートとして引き返す可能性もある。 ・今回の山行は技術の低い1年生もいたり、夜露や雨によって落ち葉がさらに滑りやすくなるなど、想定されるリスクが大きい。そのため、今回は登山を中止することにした。